

事業名			補助・単独	担当部課名		
路線名等			地区名			市町村
事業概要	(1) 事業目的					
	(2) 事業内容					
	(3) 事業計画期間及び総事業費					
	事業計画期間		総事業費 〔千円〕	年度までの進捗見込み		
	着手年度	完了予定年度		事業費〔千円〕	進捗率 = /	
				%		
事業の進捗状況	(1) 整備効果の発現状況					
	(2) 未着工及び工事遅延等の理由並びに解決の見通し					
社会経済情勢等の状況	(1) 事業に関する社会経済情勢 ア 本県内又は施工地域における状況					
	(参考) 予算の動向					
(2) 自然環境等の状況 ア 動植物、地形・地質、歴史文化、景観等の状況及び岩手県自然環境保全指針による保全区分						

社会経済情勢等の状況

イ 環境配慮事項及び環境等への配慮に要する事業費

項目評価 a . b . c

(3) 事業に関する指標からみた評価

	必要性	重要性	緊急性	効率性	熟度	計	<参考>
配点							費用便益比 (B / C)
評点							

項目評価 a . b . c

○ 関連する開発プロジェクト等の状況

総合評価

(1) 総合評価

総合評価 AA . A . B . C

○総合評価に係るコメント

(2) その他特記事項

事業名		補助・単独	担当部課名			
路線名等		地区名		市町村		
事業概要	(1) 事業目的					
	当該地区における事業目的や解決すべき課題、整備することによって得られる効果などを具体的に記載すること。					
	(2) 事業内容					
	当該地区において実施する工事内容等を簡潔に記載すること。					
事業の進捗状況	(3) 事業計画期間及び総事業費					
	事業計画期間		総事業費		年度までの進捗見込み	
	着手年度	完了予定年度	a 〔千円〕	b 事業費〔千円〕	進捗率 c = b / a	
					%	
社会経済情勢等の状況	(1) 整備効果の発現状況					
	現在の事業の進捗状況を説明するとともに、一部供用開始している場合には効果の発現状況について記載すること。					
(2) 未着工及び工事遅延等の理由並びに解決の見通し						
未着工等に該当する場合において、その理由を具体的に記載するとともに、解決の見通しと難易度について具体的な根拠を示し、その解決に至るまでの対応及び期間を記載すること。						
(1) 事業に関する社会経済情勢						
ア 本県内又は施工地域における状況						
当該地区に関して、県議会や市町村議会あるいはマスコミ等で政策や事業のあり方についての議論や見直しの検討がなされている場合、あるいは県内や地域で住民から意見や要望・陳情などがある場合には、その内容などを記載すること。						
(参考) 予算の動向						
当該事業に関する予算の状況を記載すること。						
(2) 自然環境等の状況						
ア 動植物、地形・地質、歴史文化、景観等の状況及び岩手県自然環境保全指針による保全区分						
当該地区と密接に関連する事項等を保全指針に係る最新データを確認のうえ、具体的に記載すること。例示すると次のとおりである。 ・ 植生や県のレッドデータブックに登載されている種の状況 ・ 地層の歴史的成立年代等の状況 ・ 埋蔵文化財、天然記念物、景勝地、歴史的建造物等の状況 ・ 自然公園、自然環境保全地域、環境緑地保全地域、景観形成重点地域等の指定の状況 ・ 岩手県自然環境保全指針による環境保全区分「A～E」 ・ 有識者及び関係行政機関により構成される「公共事業等に係る希少野生動植物調査検討委員会」等における希少野生動植物の生息の確認状況						

イ 環境配慮事項及び環境等への配慮に要する事業費

当該地区の実施にあたって、環境に配慮している事項及び配慮に要する事業費を記載すること。例示すると次のとおりである。

- ・河川の生態系を維持するために配慮している事項
- ・多自然型の河川整備に配慮している事項
- ・親水空間の整備など自然とのふれあいについて配慮している事項
- ・周辺の景観や歴史的、文化的環境に配慮している事項
- ・自然環境や漁場の保全に配慮している事項
- ・水質汚濁や生態系の保全に配慮している事項
- ・水生生物や水辺生物の生息に配慮している事項
- ・野生動物植物や周辺の土地利用状況等に配慮している事項
- ・再生材の使用、景観や大気汚染、騒音・振動に配慮している事項

社会
経済
情勢
等
の
状
況

自然環境等の状況及び環境配慮事項に係る『項目評価』欄については、別に定める判定基準に基づき評価を行い、該当する記号を で囲むこと。

項目評価	a	.	b	.	c
------	---	---	---	---	---

(3) 事業に関する指標からみた評価

	必要性	重要性	緊急性	効率性	熟度	計	<参考> 費用便益比 (B / C)
配点							
評点							

別に定める「公共事業評価に係る事業別評価指標及び配点」に基づき、当該地区に該当する評価指標を選定し、「必要性」「重要性」「緊急性」「効率性」「熟度」の区分毎に配点、評点を記載すること。なお、右端欄には参考としてB / Cを記載すること。

事業に関する指標からみた評価に係る『項目評価』欄については、別に定める判定基準に基づき評価を行い、該当する記号を で囲むこと。

項目評価	a	.	b	.	c
------	---	---	---	---	---

○ 関連する開発プロジェクト等の状況

当該地区と密接に関連するプロジェクト等を具体的に記載すること。例示すると次のとおりである。

- ・工業団地や住宅団地の整備
- ・体育施設、福祉施設等の公共的施設の設置
- ・大規模小売店舗等大規模な物販施設等の設置

(1) 総合評価

総合評価	A A . A . B . C
------	-----------------

○総合評価に係るコメント

「自然環境等の状況及び環境配慮事項」及び「事業に関する指標からみた評価」の2つの項目評価の結果を受けて、以下の判定基準に基づき総合評価を行う。

- ・ A A : いずれも a 評価となっているもの
- ・ A : a 評価と b 評価で構成されているもの
- ・ B : いずれも b 評価となっているもの
- ・ C : いずれかが c 評価となっているもの

また、事業目的、事業の進捗状況、事業に関する社会経済情勢等の状況を総合的に勘案して、事業を継続する必要性等に関するコメントを記載すること。

総合
評価

(2) その他特記事項

当該地区に関して、その他特に必要と思われる事項があれば記載すること。